



ホールを中心とした東市民センター、東図書館、千早音楽・演劇練習場、証明サービスコーナーなどの機能を持つ文化複合施設

# なみきスクエア



1 最大800人収容できるホール



外観東南面

開館して7ヶ月で40万人以上が利用  
複数の文化施設で構成され環境にも配慮された新しい東区の顔

「ちはやふる 香椎の宮の あや杉は 神のみそぎに たてる成りけり」  
古今和歌集で詠まれた自然豊かな香椎の大地と建物が連続する。建物の4面どこからでも施設に入ることができ、多様なシーンで訪れる来館者をゆやかに結ぶ新たな公共施設を目指す。

印象的なのは、「壁柱」の採用だ。図書・音楽・行政の用途ごとに壁柱で囲み、領域感を持たせながらも、それぞれの活動が見える関係を創出。建物外周にも壁柱を連続させることで、耐震性を高めた。

また、高木も植栽可能な「第2の大地」を屋上に実現。建物内外から季節の変化を楽しめるよう多様な樹種をセレクトした。並木広場と千早並木通りに面した部分にはスケールに合わせた高木を採用し、街と建築の間に「緑」を取り込んで親和させた。



3 1F エントランス吹抜



4 2F 交流ロビー吹抜



2F フリースペース



上空から見た屋上



2 南側「並木広場」から見た夜景

- 1 ホールは、演劇・生演奏の音楽、講演会が開催されているが、基本形状はクラシックに適したシューボックス型。大容量のホールに豊かな音が響き、舞台を取り囲む客席が一体感を醸し出す。壁面は、黒漆喰をベースに「赤」を配色した斬新なデザインが目を引く。
- 2 照明にもこだわった。昼間は柱、夜は天井や壁を印象的に見せる照明になっている。昼夜で全く異なる印象だ。
- 3 共用部には地中熱を利用して外気を加温、冷却し室内へと導入するクールヒート・トレンチや11mを超えるエントランスの吹き抜けに放射パネルを採用するなど、最新技術を搭載し環境にも配慮されている。
- 4 2F視聴覚室・練習室等では、屋上スラブを上下にずらし、屋上緑化を実現した。ガラス壁からは屋上の樹々が心地良く揺れ、木漏れ日となって室内空間に注ぎ込む。

〈所在地〉福岡市東区千早4丁目21番45号  
 〈構造〉RC造・SRC造・S造・PC造 地上2階(一部4階)  
 〈建物用途〉市民センターホール、図書館、音楽・演劇練習場、市民課等諸証明書発行窓口等 複合施設  
 〈敷地面積〉9,343㎡ 〈建築面積〉6,404㎡  
 〈延床面積〉11,566㎡ 〈完成〉平成28年3月20日

